

平成24年7月6日

各位

会社名 松尾電機株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 清水 巧
(大証第2部・コード番号6969)
問合せ先 取締役執行役員総務部門長兼経理部門長 網谷 嘉寛
(電話(06)6332-0871)

平成25年3月期第1四半期 投資有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成25年3月期第1四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせします。

記

1. 平成25年3月期第1四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成25年3月期第1四半期会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)の投資有価証券評価損の総額	87百万円	87百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しています。平成25年3月期の決算におきましては、期末日の時価により、投資有価証券評価損の額が変動する場合、もしくは投資有価証券評価損を計上しない場合があります。

※当社の決算期末は、3月31日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成24年3月期末の純資産額	7,176百万円	7,269百万円
(A/B×100)	1.2%	1.2%
(C)平成24年3月期の売上高の2%の額	131百万円	131百万円
(A/C×100)	66.6%	66.6%
(D)平成24年3月期の売上高の1%の額	65百万円	65百万円
(A/D×100)	133.2%	133.2%

(C)経常利益額及び(D)当期純利益額については、最近連結会計年度の経常利益及び当期純利益の額が、最近連結会計年度の売上高の2%及び1%に満たないため、最近5年間の連結会計年度の経常利益及び当期純利益の額の平均(赤字の年度についてはゼロとして計算)の額と最近連結会計年度の売上高の2%及び1%の額のいずれか大きい方を基準としています。

2. 今後の見通し

上記の投資有価証券評価損を平成25年3月期第1四半期において、特別損失として計上する予定です。

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、現在集計中であり、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

以上